

審議会等の会議結果報告書

【担当課】生涯学習課図書館係

会 議 の 名 称	令和6年度第3回図書館協議会		
開 催 日 時	令和7年2月18日（火） 午後4時00分～5時40分		
開 催 場 所	茅野市図書館		
出 席 者	矢崎智義委員長、細川美歩子副委員長、北原東一委員、小池千恵子委員、志水琴美委員、名取真理子委員、松岡隆志委員、百瀬るみ委員、両角薫委員、上田生涯学習部長、矢嶋生涯学習課長、伊藤図書館長		
欠 席 者	濱喜一郎委員、田村満理委員、田村満利子委員		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍 聴 者 の 数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容		
生涯学習課長	1 開会（生涯学習課長） 2 あいさつ 本日、教育長が急遽欠席となりますので、代理ということで生涯学習部長よりご挨拶申し上げます。		
生涯学習部長	皆さまお疲れ様です。教育長は急遽公務が入ってしまいましたので、私が代わりにご挨拶させていただきます。日頃より大変お世話になりましてありがとうございます。教育長から最近読んだ本で大変おもしろい本があったのでぜひ紹介をして欲しいということで資料を預かりましたのでお配りします。「バカの災厄」という本です。機会がありましたらご覧になっていただければと思います。本日は1時間30分という限られた時間ではありますがそれでも、どうぞよろしくお願い致します。		
委員	3 審議会の公開について (事務局から説明を行う) (特に異議はなく、本日の会議について公開とすることを決定) 4 会議事項 (1) 令和6年度図書館運営状況について (資料2について図書館長から説明を行う) 今、館長さんから説明していただきましたけれども、読み一む in ちのも第5土曜日におはなし会を何回かやらせていただいたのですが、その実施記録がどこにも載っていないのはなぜかという質問がひとつあります。それと読み一む in ちのと連携ができたところにも書かれているし基本方針にも載っていますが、読み一む in ちのとの連携とは何のことを指しているのか疑問に思いましたので、資料の方に具体的なことを載せていただければ嬉しいなと思います。		
図書館長	第5土曜日のおはなし会は私も毎回出席させていただいていますが、主催が読み一む in ちのさんですので、参加された人数の把握等はこちらではし		

	ていません。参加されている方は読み一むさんの関係者含めてかなり多いとは感じています。連携に関しては、読み一むの企画運営会議の方にはできるだけ参加し、読み一むさんでやっていること、またこちらでやったことをお互いに情報の交換をしているので、ある程度の連携は取れているのかなと思っています。何をもって連携できたと言えるのか、それは求めるものが何かによって違ってくるのかなと思います。
委員	ありがとうございます。読み一む in ちののおはなし会は、この実施事業の中の定例おはなし会などの項目には載らないものなののでしょうか？
図書館長	そうですね。読み一む in ちのさんのおはなし会については主催が読み一むさんになりますので、そのようになります。
委員	他のボランティア団体さんのものは定例おはなし会なのですか？
図書館長	定例おはなし会はこちらからボランティア団体さんをお願いしてやっていただいているものになります。
委員	そうですか。読み一む in ちの他に同じような団体があるのでしょうか？
生涯学習課長	すみません。私も今その話を聞いていて、読み一む in ちのさんにおはなし会をやっていただいているのであれば、協働事業ということで載せた方がいいかなと思いますので、次回からそのようにさせていただければと思います。
委員	私もせっかく協働でやらせてもらっているのであれば、できれば載せてもらったほうが数字としても出てくるし、わかりやすいかなと思いましたのでまたご検討ください。
委員長	他に何かご意見、ご質問等ありますか？
委員	すみません、今お話がありました読み一む in ちのさんと図書館の連携ですが、主催が読み一む in ちのさんであれば、読み一むさんのほうからこういうことをやったという報告が上がって来ないと、図書館では把握が出来ないのではないかと思います。たしかに連携として載せなくてはいけないかなと思いますが、図書館主催でないものをすべて把握するのはなかなか難しいのではないかと思います。
生涯学習課長	今後は情報をいただいて、より良い方法でできるかなと思います。ありがとうございます。
委員	質問は特にありません。ただ、資料を見て、とてもたくさんのことを行っているのだなと思いました。ひとつひとつのことに必ず誰かが関わっていると思うので、ご苦労を感じました。
生涯学習課長	委員さんからねぎらいのお言葉をいただきまして、嬉しく思います。ありがとうございました。4月から図書館を見ているのですが、職員がオーバーワーク気味なところが実はあります。先ほどの資料の中に見直しが必要という箇所もありました。これはこれから図書館としてどこを目指していくのか、という部分に絡んできますけれど、重点的にやることを決めて新しいことをや

	るのならこっちはもうできない、というようなことも出てくるかな、と考えていますのでご理解いただければと思います。
委員長	議題の（３）でそのことに触れますけれど、今後どうしていくかといった話が出てくるかと思います。例えば私は毎回児童向けのおはなし会が多くて、大人向けのおはなし会が少ないのではないかという話をしてきました。そうしたら職員さんと打ち合わせをする中で、理科大の先生の講座を入れたりして努力してやっていますということでした。ただ、開催日や時間帯については事前にすり合わせができるのではないかと思いますので、図書館協議会と図書館との関係をどうするかという話を後ほどしたいと思います。
副委員長	ひとつお聞きしたいのは、10 ページの一般市民の提案による「カリキン掲示板」を設置し市民同士の交流が行われている、とありますがこれはどういったものなのですか？
図書館長	もしよければお帰りの際に 1 階のカリキン掲示板がある場所を見ていただけたらと思いますが、ゆいわーくやワークラボなど図書館以外の施設にも同じものが置かれています。これは大学生の方が提案されたもので、紙ベースで質問の用紙と回答の用紙を用意してあって、例えばどんな本が好きですか？という質問を書いて箱に入れておくそれが掲示板に貼られて、それを見た人が今度はこんな本がおすすめですよというように回答したものを重ねて上から貼っていき、質問に対して回答がどんどん増えていくというような掲示板です。図書館ではなく、ボランティアさんがこの掲示板を管理しています。
副委員長	ありがとうございます。
委員長	運営状況について他に質問やご意見等ございますか？なければ次の議題に移ります。
	（２）富士見町図書館を視察して
委員長	富士見町図書館さんへ 10 月 25 日に視察に行きました。今回、職員の方も一緒に行かれたということで、この視察はとても大きな意味があったように感じています。ではまず視察のご報告を館長の方からお願いします。
図書館長	富士見町図書館さんを視察させていただいた後の職員の感想をまとめたものが資料 3 になります。視察をして感じたことは、まずはハード面の良さでした。駅に近い立地の良さや複合施設としての集客の良さ、それに加えて施設内の棚の低さ、大衆向けの雑誌や漫画、DVD が多い、あたたかく明るい雰囲気を感じられたというようなことが感想として挙がりました。そうした中で、逆に茅野市の図書館の良い所を聞いてみたところ、展示コーナーが広いので工夫を凝らして本を紹介している、森の中に図書館が建っているので落ち着いた雰囲気の中で本を読める、窓から見える山や緑が気分転換に良いといった点や、一般コーナーと児童コーナーが分かれているのでお子さんの声が気になり難い、郷土雑誌の内容の登録をしっかりとっている、などが挙がりました。 それを踏まえて図書館の改善すべき点は何かという問題になりますと、1 番は棚が窮屈でゆとりがないということです。視察に行かれた方はわかると思いますが、富士見町図書館さんは棚に余裕があるので全部が背表紙ではなくて、面置きして表紙が見えるようになっている場所がところどころありました。棚のきつさを改善していきたいと考えています。

	もうひとつは茅野市では本館のほかに 10 分室と市民館図書室がありますので、図書購入の仕方を今後考えていかなければいけないと感じている職員もいました。 富士見町図書館さんの良さである居心地の良く明るい雰囲気、棚のゆとり、展示の方法などを取り入れていきたいと思っています。 視察に行ったことによって、ハード面はどうにもできないけれど、ソフト面で気が付いた点がいくつかありましたので、富士見町図書館さんの良い所を真似していきたいと思っています。
委員長	ありがとうございます。資料は読んでいただければと思います。では、委員さんの中にも視察に行かれた方がいると思いますので、ひと言ずつご感想をいただければと思います。
副委員長	富士見町図書館さんは広さを感じられるということがまずあるように思います。茅野市の場合は正面展示が素晴らしいと思っていつも見ています。茅野市の良い所はこれからさらに伸ばしていただけたらと思いました。 今日欠席の委員から申し付かってきたのですが、富士見の図書館では宅配ボランティアの方がいたとのことで、今はそのボランティアをやってらっしゃった方が辞めてしまわれたのですが、そういったことが茅野市でもできないかという提案がありました。というのは、委員さんご自身が体調を崩されて今日も来ることができなかったもので、本当に身をもってこんな時に本を届けてくださる方がいたら助かると思ったとおっしゃっていました。
委員	富士見町図書館を視察させていただきました。私は 6 市町村の図書館全て行ったことがあります。富士見町さんと下諏訪さんはだいたい似ていて居心地の良い図書館だなという感じがします。茅野の図書館に比べて時代に即した読みたい本が置いてあって、市民のニーズに応えているのではないかなと思いました。 富士見町さんでは漫画をずいぶん読みましたし、2階で景色を見たりしたこともありました。茅野市の図書館でそれができるかどうかはわかりませんが、市民アンケートで図書館は必要だということですから、例えばおはなし会をいつもの部屋ではなく春先の暖かい時期には外でやってみるとか、今までと違うことを考えてみたらいいのではと思いました。 市民の方が訪れやすい図書館を目指していただけたらと思います。
委員	当日私は園の行事がありまして視察に参加は出来なかったのですが、私も富士見の図書館を利用したことはあります。子どもと一緒に行って冬はこたつにあたり、庭に芝生の場所があるので図書館の後に遊んだりして利用させてもらっていました。茅野市の図書館の良い所を伸ばしながら、他の図書館さんの素敵な所はこれから取り入れていけばいいなと感じました。
委員	私は諏訪地域に住んでいないので、6 市町村の他の図書館さんのことはあまり把握しておらず、富士見町さんにも初めて行かせていただいたのですが、ハード面のことを言い出したらキリがないのかなと思います。学校図書館をやっていらっしゃる先生方がいたらおわかりになるかと思うのですが、学校はどこに異動してもその箱の中で収めなくてはいけないということがあるので、富士見さんを参考にしつつ、茅野市の図書館だからこそできることがきっとあると思うので、良い所を伸ばしながらやっていけばいいのではないかと感じています。
委員	私も当日視察には行けなかったのですが、私は自宅が茅野の図書館よりも富士見の図書館のほうが近いので、自分の子どもが小さい時からほぼ毎週末

	富士見の図書館に行っています。子どもが小さい時は絵本コーナーに行っていたのですが、高学年になったので子どもは児童書のほうにいて、私は一般書の方に行っています。富士見の図書館は見通しが良いので大人も子どもも安心してそこに居られます。その環境は富士見の方が良いと感じます。ただ、入口の正面展示は素晴らしいので、茅野の図書館に来るときには立ち止まって見えています。児童書のコーナーを充実してもらえたらいいなということも思いました。
委員	私も視察に参加させていただきました。最初に印象に残ったのは、やはりハード面の良さでした。ただそもそも図書館は何のためにあるのかということを考えて、先ほど他の委員さんもおっしゃいましたが、図書館本来の目的、例えば本とどう向き合うのかとか、そういった部分でできることを考えていったら良いのではないかと思います。今回の視察の感想を読ませていただくと、ハード面ではなかなか敵わない、だからソフト面に力を注いでいくという意識が感じられたので、視察は非常に良い経験になったのではないかなと思います。 私は年末に富山県に行きました。ご存知の方がいるかもしれませんが、富山の図書館はハード面がとにかく素晴らしいです。その中で、他にもやられている図書館があるかもしれませんが、いいなと思ったのは「予約図書受取室」です。これは予約をするとその部屋に本が用意されていて、仕事の帰りに本を受け取ることができるというシステムです。図書館が閉館しても受け取れますので、図書館のハード面の見た目の良さと、このようなソフト面での工夫がうまく噛み合っていると良い図書館という印象になります。同じようなことは茅野市の図書館でも充分考えることができると思います。 図書館の目指す方向性についてはまた議論があるのかなと思いますが、富士見町図書館へ視察に行った感想としては、今の環境でできることを考えていくのが大事なことだと思います。
委員	私も視察に行かせていただきました。明るくて広いというのが入口での第一印象です。入ってすぐに「あ、この本借りていきたいな」と思う本が目についたのがとても印象的でした。茅野市の図書館も充分工夫されてやっていると思うので、富士見町さんと同じことをする必要はないと思いますし、そうはいっても茅野市の図書館もけっこう明るいんですね。茅野市の図書館も全然引けを取らないのではないかなという印象を持ちました。
委員	私も参加させていただきました。今日頂いた資料の中にも意見が書かれていましたけれど、児童書コーナーを見て選書の基準が茅野市とはかなり違うと思った、と言うご意見がありました。茅野市は選書の基準がすごく厳しいのではと思います。私たちが一般の書店に行って面白そうだなと思うような本がここにはないということだと思います。図書館に来る方のニーズに合わせるということも多少は必要なので、もう少し基準を緩くすることも今後は必要なのかなと思いました。
図書館長	では、前回の第2回図書館協議会の際に付けさせていただいた資料の振り返りになりますが、富士見町図書館と茅野市図書館の蔵書の構成についてご報告します。富士見町図書館で蔵書が1番多いのが一般文学でおよそ4万3千冊です。茅野市の図書館も同じく1番多いのは一般文学でおよそ4万6千2百冊ほどでした。次に、富士見町さんで2番目に多いのは児童絵本で1万6千6百冊。茅野市も同じで2番目に多いのは児童絵本ですが、数としては3万8千冊でおよそ倍くらいの蔵書があります。3番目に多いのがこれは富士見町さんの特徴だと思いますが一般コミックで1万2千5百冊です。茅野

	市で3番目に多いのは児童文学で2万3千冊というのが蔵書の構成になります。 これを踏まえた上で、委員長さんの方からどんな本が貸出されているのかということを知りたいと、統計から数字を出してみました。その内訳ですが、前年の数字ですが富士見町さんは一般書の13万3千冊のうち、1番貸出が多かったのは一般コミック、漫画です。それが4万5千9百冊で全体の約35%でした。2番目が一般文学で4万2千8百冊になります。これが約32%くらいです。3番目が一般技術でこれは料理本だとかの実用書だと思います。これが1万9百冊。これが全体の約8%くらいです。これらを合わせるとおおよそ74%ほどになります。 茅野市の場合とは言いますと、13万2千冊の貸出のうち1番多いのは一般文学です。これが5万7千7百冊で全体の約44%でした。2番目に多いのが一般コミックで1万4千8百冊。全体の11%ほどです。3番目に多いのは富士見町さんと同じで一般技術で1万4千冊。全体の約10%ほどを占めていました。これらを合わせるとおおよそ65%ほどになるのですが、茅野市ではこれに加えて歴史や社会や自然の本がそれぞれ差はなく1万弱くらいでまんべんなく利用がされているということがわかりました。さらに茅野市としては児童書と郷土資料に力を入れていますので、比べてみますと富士見さんの児童書が6万4千8百冊に対し茅野市は7万6千冊でした。郷土資料に関しては富士見さんの貸出が9百冊。茅野市は千3百冊でした。郷土資料の方は茅野市の方が少し多いです。 もうひとつこれは富士見さんの大きな特徴かなと思うのですが、CD・DVDに関してですが、富士見さんのCDの貸出は5千百点ですが、茅野市はおおよそ半分の2千7百点くらいでした。また、DVDは富士見さんが7千3百点。茅野市はDVDをほとんど持っていないので37点ということでDVDだけでもかなり数が違ってきます。 雑誌に関しては富士見さんが1万9千冊。茅野市1万5千3百冊というような数字になっています。 その他、茅野市は本館以外に10分室と市民館分室も抱えていますので、本館以外にも書籍代がかかっていますが、分室さんは子どもさんが来ることが多いので、児童書を多く必要としていて、本館に置いてあるのと同じ本を欲しいということで、同じような本が置かれることがあります。これは致し方ないことかなと思っています。
委員長	館長のお話を聞いて、何かご質問等ございますか？
委員長	先ほど委員さんから読みたい本が富士見町さんにはたくさん置いてあるというお話がありましたけれども、茅野市と選書の基準がそんなに違うのでしょうか？
図書館長	富士見町さんの基準はわからないのですが、茅野市図書館の選書基準は、大枠では決まっていますが、事細かく決まっています。
図書館職員	選書基準はありますが大雑把なものでしかないので、実際に本を選ぶときの基準は今までの先輩方からの引継ぎや司書の感覚になってきてしまうのですが、児童書に関しては富士見さんにはあるけれど、茅野にはないという本がけっこうあります。茅野市ではあまり柔らかい本は置いていないです。
委員長	委員さんも違いを感じたということでしたね。
委員	はい、富士見町さんに視察に行った際1番感じたのは、フットワークの軽さでした。コーナーごとに本を各担当が自分で選んでいるということです。

	し、ふと CD を見たら亡くなった西田敏行さんのものや大谷翔平さんの CD がありました。こういうものは茅野の図書館にはないだろうなと思ってしまいました。富士見さんはそういった話題に上がる資料を集めている感じがします。それ以外でも本を探しに来て茅野にはなくて本屋さんへ行って買うことが多いので、もうちょっと読みたい本と読ませたい本が一致するように選書していただけたらと思います。
委員長	前回の議事録を見ていただくとわかるのですが、富士見町図書館の職員の方の選書は、担当者にこれは古くなってきたからそろそろ新しいものが欲しい、あるいはこの本面白そうだから欲しいというような要望を挙げてもらった後、全員で話をして決めているそうです。自分の担当分野以外もチェックしてなるべく偏りがないように多くの人の目で見て判断をしていて、最後まで同じような本がないかどうかチェックするようにしている、という話がありました。茅野市と選書の仕方は違いますか？
図書館長	茅野市も選書のやり方は富士見町さんと同じです。茅野市も全員で選書していて、その上で選書担当が全体を見て偏りがないかどうかチェックしています。
委員長	富士見町の図書館について何か他にご意見ありますか？
生涯学習課長	皆さんから選書をもっと柔らかくしたほうがいいのではないかというご意見いただきましたので、検討をしていきたいと思います。これはまた次のどんな図書館を目指していくかという議題にも繋がってくると思います。 例えば、居場所として居心地の良い図書館を目指すのであれば、固い本ではなく漫画のようなものを手に取って時間を過ごすというように繋げて考えていけるとと思います。それから、皆さんから正面展示が素晴らしいというご意見をいただいて非常に嬉しく思っています。 富士見町図書館さんの視察は職員も皆刺激を受けて、富士見の図書館さんの良さを茅野にも生かしていこうという話を次の月の職員会でやろうとしたら、もうすでに正面展示をかなり工夫してやってくれていました。自分たちもワクワクするような図書館になるように職員の皆さんも頑張ってくれています。私は茅野市の図書館のロケーションが非常に素晴らしいと思っています。駅からは遠いですけどカウンター席に座ってふと見上げると窓の外に緑が見えるという環境はとても良いなと思っています。 (3)今後の茅野市図書館の目指す方向性について (4)今後の図書館協議会について
委員長	では、3 番、4 番の議題併せてご意見いただければと思います。協議会の委員さんからも、発言しただけでフィードバックがないという話が出ています。こちらからの議題の投げかけ方だとか、事前にこれに関するご意見をいただきたいというお話をしていなかったり、図書館の年間の予定を決めるのに合わせて会議が行われていなかったりといった問題点があると思いますので、それを踏まえてご意見をいただきたいと思います。
生涯学習課長	その前に委員長と打ち合わせをした時の話をさせていただいたほうがいいかなと思いますが、よろしいでしょうか。委員長からお話があったのは、茅野市図書館で毎年事業計画を立てますし、基本運営方針というものもありますけれども、中長期的に茅野市の図書館をどんな図書館にしていきたいかというビジョンがないというお話がありました。その部分を皆さんと話をし、それに向かってやっていくことが必要ではないかというご意見を委員長

委員長	からいただいて「今後の図書館の目指す方向性について」という議題になりました。 もう1点補足をしますと、図書館の職員さんはこれまで本当に一生懸命やってきました、それを責めるつもりはないです。ただ、その思い通りの結果になっていないということは会議の在り方や、運営の仕方や、事業の選択が間違っているのかもしれませんが。 私がいつも引き合いに出すのが、アメリカの図書館協会です。その図書館協会では毎年現地大会をやっているのですが、その大会では今年はこうしますよ、この期間はこうしていきますという話をします。それがとてもわかりやすく、最近のことで言えば、社会の分断を無くすように手助けをする、というものがありました。なぜかというトランプ大統領が出てきてアメリカは社会の分断が進んでいます。それに対して図書館に何ができるかということをやっていきましよう決めて、国レベルで予算もつけています。そして、予算をもらっていることが何かを見れば、力を入れているものが何かわかりやすくいいなと思っています。 例えばこの図書館でも、今年はここに力を入れる、その代わり他は少し手を抜くことにしてもいいと思うのです。毎年わかりやすくしてやっていると、利用者にもわかるし職員にもわかります。今この図書館はこれに力を入れてやっているということがわかればそれでいいのでは私は思っています。働き盛りの人に焦点を当てたいと思ったらイベントをやらなくてもいいと思いますし、これを今年は取り上げようということがみんなにわかってもらえたら、より市民の方にも受け入れられるようになると思います。 そのつもりで私は皆さんのご意見を聞いて、来年度は今までと違った協議会にしていきたいと思っています。ではご意見よろしくお願いします。
生涯学習課長	委員長ごめんなさい。少し時間が押しているので提案なのですが、(3)と(4)をまとめてご意見いただければと思います。(3)については単純に茅野市図書館がこういう風になればいいなと思うことを言っていただければと思います。居心地が良い図書館になればいいな、とか高齢者にもっと手厚い図書館になればいいな、というようなことを言っていただいて、実際に進めていくにあたっては協議会で発言したことが次の年の事業には反映されていくように、予算決めに間に合うようなタイミングで開催をすとか、回数も3回ではなくてもう少したくさんやろうだとか、あとは審議会方式ではなくパートナーシップのまちづくり方式で市民と職員が対等な立場で議論する場でもいいのではないかとということも委員長さんと話をしましたので、発言の参考にしていただければと思います。
副委員長	今後の茅野市図書館の目指す方向性についてですが、市民ファーストで考えて行って欲しいと思います。具体的には、茅野市の図書館は講座をたくさん開いていますけれど、作家さんと呼ぶとか、トークショーのようなものをするとか一般市民の人が気軽に立ち寄れるようなことができればいいなと思います。 それから今後の図書館協議会の在り方については、今は各方面のいわゆる有識者の方が集まっていますが、図書館を利用している一般市民の方のもっと他にもいらっしゃるので、ざくばらんに「図書館について語り合いませんか」というような誰でも参加できてもっと身近な声を聞けるような会議であっていいのかなと思いました。
生涯学習課長	大変申し訳ありません。ここからはお時間も少なくなってきているのでひとりで2分くらいでお願いします。

委員	図書館協議会の委員を2年務めさせていただいています。それで思ったことは、会議録が後から送られてくるのを見て「これでは迂闊に喋れないな」ということです。大変堅苦しくて、なかなか喋りにくい会議だなと思いました。それから、終活をしているのですが本が溜まってどこか引き取ってくれる所がないかなと思いますし、もうひとつ心配しているのは新聞にも載っていましたが地区コミュニティセンターのことがあります。きっと分室とも関係があるのでしょうか？
生涯学習課長	これについてはまた後でお話します。
委員	そんな訳で2年間の任期を終えてあまり発言できなかったことをお詫びしたいと思います。
委員	今まで皆さんもお話されていたように、今までやってきたこと全部をそのままやるのではなく、その中で特色あるもの、茅野市はここがすごいと言えるものがあるといいのかなと思っています。保育園では1日保育士体験といって保護者の方が保育園の先生になって保育園のことを知ってもらい親しんでもらうという日があります。その際に絵本の読み聞かせのことや本のことを語り合う場を大事にしています。1日保育士体験の日にこの本良いですね、とか図書館に行ってみますと言ってくれる保護者の方の想いが嬉しいないつも感じています。保育園としては親子で絵本に親しむ中で図書館に行ってみたいな、この本好きだなという言葉が出てくるようなことを一歩ずつやっていきたいなと思いました。
委員	目指す方向性や協議会の在り方になるとどうお答えしていいかわからないのですが、昨今図書館はもういらぬのではという話も出てきている中で図書館にはこれがあるから必要なんです、と主張する理由としてよく挙げられるのは、古い貴重な本があるから図書館を無くしてはいけないというものです。でも、一番重要なのは図書館を使う人たちが手に取りたい本をいつでも提供できる場所である、ということなのではないかと私は感じます。 本が買えない子でも図書館に行けば本が買える子と同じように読むことができる、という単純なことが大事なのかなと思っていて、貴重書や地域の本を入れるのも大事なのですが、図書館に来た時に欲しい本がないと、やっぱり使えないからもう来ないという風になってしまうので、古い本を集めることも図書館の仕事のひとつですし大事なのですが、それだけではなくて、どんな人でも図書館に来たら何か一冊手に取って帰れるような図書館でありたいなと思っています。 読み聞かせだけではなくてその他のことでも茅野市の図書館と連携が取ればいいなと思っています。蔵書の貸し借りなどできるのではないかと個人的には思っています。
委員	先ほど我が家の子どもの話を少しさせていただいたのですが、富士見の図書館にはDVDがたくさんありますが、高学年になってきてDVDを借りたいから行く、そのついでに読みたい本が見つかったら本も借りるというようになってきてしまっているのですけれども、全ての世代に合った本が選書されているといいなという風に思います。小学校の図書館には「サバイバルシリーズ」や「どっちが強いシリーズ」などは置いてないので、そういうものが図書館に行けばあるということになればとても魅力的なことなので、ぜひ選書の検討をお願いしたいと思います。 協議会の在り方については初めて参加したのでなんとも言えないのですが、会議時間を短縮していただければありがたいなと思います。

委員	私は大学の図書館長をやっている関係でこの会議に参加させていただいていますが、実はこの3月で定年します。ですので、4月からは一市民としてぜひ利用させていただければと思っています。この協議会には新しい図書館長が大学から来ると思います。 協議会の在り方についてということなのですが、最初にこの会議に参加した時に確か県立長野図書館の館長さんがいらしたと思うのですが、あの話を聞いたときに非常に面白いなと思いました。その時、図書館の活用に対して非常にアクティブに関われるのかなと思ったのですが、結局その後年に2回の会議で話したことがどう反映されているかわからないし、この場に来た時に思っていることを喋っているだけのようには思います。 実は私は環境審議会の委員もやっていますが、それも図書館と同じように審議会方式です。先ほど課長さんと委員長の方から図書館を良くしていきたいという話がありましたが、事前に話をされていり方をどうしていけばいいんだろうというようなことはその会議でも今までなかったです。ここで話したことがどういう形で反映されていくか正直よくわからないという思いはあります。環境審議会でも皆さん良い議論をされているのですが、果たしてそれが市役所の中へ戻っていったときにうまく反映されているのかな、とは思っていたところです。そういうところが改善されていけば非常に良いなと思います。
委員	私が発言するのはいつも高齢者のことばかりで申し訳ありません。ボランティア団体の「紙ふうせん」をやり始めてもう35～36年になるのですが、今の子どもに初期の頃に作った頃のパネルシアターを見せてもなんだかかわからないようなのです。IHヒーターになっているから、ガスの火が点くのをまず知らないです。縄文とか寒天とかそういうこともすごく大事なのですが、今お子さんが高齢者の話を聞くという機会がすごく少ないと思います。少し昔の日常生活について知ってもらうことも災害など何かあった時などに生きてきて意味があるのではないかなと感じています。高齢者と小さなお子さんが昔の生活の話をするみたいな機会が図書館で持てたらいいですね。 あともうひとつは、真面目な本ばかりでなく1年に1回くらいは型破りな本を並べてみるということがあっても面白いのかなと思います。
委員	私は委員になって6年ほどになりますが、毎回「今後の茅野市図書館の目指す方向性とは」とか同じことを聞かれて、いつも同じことを答えています。協議会で発言しても果たしてそれが成果になっているのか疑問に思っていました。他の委員さんが先ほど言われた通り会議の内容がどう反映されているかわからないという図書館協議会の問題点があると思います。もう少し私たちが言った意見をこのように反映しましたというフィードバックがあれば、わかりやすくいいのかなと思います。
委員長	貴重なご意見をありがとうございました。協議会が意見を反映できるようなシステムになっていなかったということだと思います。準備をして来期から反映出来たらなと思っています。 5 報告 (1) 図書館分室・市民館図書室の見直しについて
生涯学習課長	図書館分室、市民館図書室の見直しについてという新聞記事についてですが、これは行財政改革の中で掲げた項目の中に入っています。財政状況が厳しいということもあって全てを市の方で用意することはできなくなってきました。新しいことをするには、何かを辞めなければいけないという状況にどこの自治体もなっていますので、何を重視していくかという議

	論を行政だけではなく、みなさんの意見を聞きながらやっていければと考えています。今後見直しの話が出てくると思いますので、その際にはご意見をいただきたいです。
	(2) 視覚障害者対応
委員長	では、視覚障害者対応ということで、館長お願いします。
図書館長	これについては、資料にある通りなのですが、障害者サービスのご希望がありまして、取り扱い方を整備しました。周知はこれからになりますので、このような形で障害者サービスを進めていきたいということで、ご承知おきいただければと思います。
	6 その他
委員長	その他お伝えすることがございますか？
図書館長	公共施設の利用状況について簡単にご説明します。前回アンケートを出したのですが、年齢層はどうかと委員長さんからお話がありました。図書館の認知度が 92.4%です。年代別では、20 歳代以下では 1 位がスケートセンターで 85.5%です。30 歳代では 1 位が野球場で 89.9%です。40 歳代、50 歳代の方たちに図書館が 1 番認知されていて、40 歳代が 93.7%、50 歳代が 97.5%となっています。60 歳代は 1 位が考古館 92.8%、70 歳代は 1 位が茅野市民館で 93.9%となっていますが、いずれにしてもどの年代でも図書館の認知度は高い順位になっています。 1 枚資料をめくっていただいた「絶対必要だと思う施設」についてもやはり図書館は 72.2%で 1 位です。また、「廃止を検討していくべき施設」では順位が 1 番低くて廃止を検討すべきでない施設と思っていただけということがわかります。細かい年齢別の数値については、また各自見ていただければと思います。
委員長	補足しますと、行政が公共施設について市民にアンケートを取りました。その中で市民の方が廃止せず存続してもらいたいと答えたトップの施設が図書館でした。それを年代別にまとめた内訳がこの表になります。またご覧になっていただいて、ご意見等後日聞かせていただければと思います。
生涯学習課長	委員長すみません、ひとことだけ言わせていただければと思います。おっしゃることはごもっともで、茅野市の審議会は市民の方々に意見を聞くのですが、それが反映されているかどうかかわからないということが多々あります。これは茅野市だけではなくて、他の自治体もそうです。形だけ市民の声を聞きました、という姿勢になってしまっているのは問題だなと思っています。それで図書館協議会を変えていきたいと思いますということで委員長と熱心に語り合いました。来年度は具体的に話をしていきたいと思っています。
生涯学習課長	7 閉会（生涯学習課長） 少しお時間過ぎてしまいましたが、来年度も継続していただけるようでしたら図書館協議会を変えていきたいと思っていますので、どうかよろしく願い致します。それでは、これを持ちまして令和 6 年度第 3 回茅野市図書館協議会を閉会させていただきます。ありがとうございました。
	～午後 5 時 40 分 会議終了

